らくよう

楽しく　陽るく　荘全体で
お年寄りの人権を守ります。
その方らしい生活が出来るよう応援します。
最後までお世話させていただく準備が出来ています。

特別養護老人ホーム楽陽荘　平成３０年２月号　NO．２９４

≪ お正月 ≫

あけましておめでとうございます。今年はお天気もよく良いお正月でした。お年寄りは、お元気に越年されお雑煮やおせち料理のお祝膳をいただいて、新年のお祝いをしました。

二日は書初めを行ないました。お正月らしい言葉や、今年の目標等を書きました。「字やよう書かんわ」と言われながらも、筆をとる姿は真剣そのものでした。

すごろくゲームでは、大きなサイコロを振り、「６出ろ、６！」「ふりだしに戻ったわ～」と賑やかな声や歓声がフロアを包みました。お孫さん、ひ孫さんなどたくさんのご家族の方が面会に来て下さり、とても賑やかなお正月を過ごすことができました。また、お正月帰省された方は、どのお方もお正月を満喫されたようで、幸せ一杯のお顔で帰園されました。

≪高瀬鈴石同好会大正琴慰問≫

１月１９日、高瀬鈴石同好会の皆様が慰問に来て下さいました。「たき火」や「東京行進曲」等、童謡から歌謡曲まで幅広いジャンルの曲が披露され、大正琴の音色に合わせてリズムに乗り、手拍子を打つ方や、笑顔で「いよっ！」「それっ！」と合いの手を打つ方、懐かしい曲を一緒に口ずさむ方もいました。

また、豪華な衣装を身に纏っての傘踊りでは、華麗な舞いに感嘆の声が上がりました。見惚れる方もおり、時間が経つのを忘れるほどのとても楽しい時を過ごしました。最後には「来年も待っとるで！」と、再会を待ち望む声が上がっていました。

≪七草粥≫

松の内が終わる１月７日に、皆で七草粥を頂きました。
「せり、なずな、すずな、すずしろ、ほとけのざ、ごぎょう、はこべら、これぞななくさ」と子供のころに一生懸命覚えたという春の七草を教えてくださるお年寄りもおりました。

≪鏡開き・喫茶らくよう≫

１月１１日は「喫茶らくよう」の日で、ボランティアの皆様にお手伝い頂き、鏡開きを行いました。

生けられた美しい黄梅を見ながらぜんざいを頂き、お年寄りからは「よいよおいしいわ」と、大変喜ばれていました。

ボランティアの皆様には、月に二回の「喫茶らくよう」で大変お世話になっております。季節のお花を持って来て頂き、お年寄りの皆さんはお花を眺めながらおしゃべりを楽しまれ普段とは違った雰囲気の中でお茶を頂いています。

≪編集後記≫

寒さが一層厳しい季節となりました。この冬もノロウイルスやインフルエンザが流行しています。楽陽荘では、その対策として手洗い、うがい、換気などに気をつけています。ご家族の皆様にも、ご面会の際には手指の消毒やマスクを着用する等のご協力をお願い致します。

広報担当：森・熊谷・田邊